

会員事業場における労働災害（休業4日以上）

－ 令和4年1～3月 －

令和4年1～3月の3か月間に、全国の会員事業場で発生した休業4日以上¹の死傷災害のうち、各総支部から報告があった45人（前年同期33人と比較すると36.4%増加、前々年同期51人と比較すると11.8%減少）について集計した結果は、以下のとおりである。

1 総支部別

前年同期に比べると、7総支部が増加している。

総支部	H30	R1	R2	1～3月	R3	1～3月	R4 1～3月
北海道	5	6	12	4	5	3	1
東北	4	7	4	2	3	2	2
日本海	10	12	8	3	10	3	2
千葉	3	-	1	-	3	-	3
東京	2	12	4	-	9	1	6
神奈川	26	28	35	8	23	6	7
東海	22	29	27	9	25	4	7
大阪	9	15	15	7	17	3	4
兵庫県	14	14	11	3	13	4	6
中国	5	4	8	4	2	-	1
四国	1	1	1	1	5	-	-
九州	22	22	16	9	17	7	6
沖縄	2	6	3	1	5	-	-
計	125	156	145	51	137	33	45

2 雇用形態別

「常用」が9割以上を占めている。

雇用形態	H30	R1	R2	1～3月	R3	1～3月	R4 1～3月
常用	114	134	132	47	126	31	42
派遣	-	-	-	-	-	-	-
日雇	11	22	13	4	11	2	3
計	125	156	145	51	137	33	45

3 年齢階層別

前年同期に比べると、「30歳未満」、「40～49歳」及び「50～59歳」が増加している。

年齢階層	H30	R1	R2	1～3月	R3	1～3月	R4 1～3月
30歳未満	18	23	21	6	25	3	8
30～39歳	36	36	39	12	30	10	10
40～49歳	27	49	40	14	31	8	13
50～59歳	28	30	32	11	41	9	12
60歳以上	16	18	13	8	10	3	2
計	125	156	145	51	137	33	45

4 月別

前年に比べると、「1月」が大きく増加している。

月	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
1月	10	12	9	20	19	7	18
2月	12	9	14	15	19	14	8
3月	10	12	8	18	13	12	19
4月	5	6	13	6	13	10	
5月	9	11	12	12	7	12	
6月	11	7	7	11	14	11	
7月	14	16	13	14	6	11	
8月	9	11	8	16	14	13	
9月	8	11	9	14	8	15	
10月	13	11	11	8	10	16	
11月	8	13	11	15	10	5	
12月	8	8	10	7	12	11	
計	117	127	125	156	145	137	45

5 曜日別

前年同期に比べると、主に「火曜日」が大きく増加している。

曜日	H30	R1	R2	1~3月	R3	1~3月	R4 1~3月
日	12	7	2	2	4	1	-
月	11	23	33	12	29	10	7
火	23	16	14	9	19	3	15
水	20	32	27	6	22	3	6
木	26	24	27	8	24	3	6
金	19	27	25	7	29	10	7
土	14	27	17	7	10	3	4
計	125	156	145	51	137	33	45

6 時刻別

前年同期に比べると、主に「9時台」～「11時台」が増加している。

時刻 (~時台)	H30	R1	R2	1~3月	R3	1~3月	R4 1~3月
5時	-	-	-	-	-	-	-
6時	2	1	-	-	2	-	-
7時	1	5	1	-	4	2	-
8時	9	16	11	4	13	5	5
9時	18	19	22	6	12	4	9
10時	18	20	19	5	17	1	5
11時	17	16	17	4	13	1	4
12時	-	6	2	2	6	3	-
13時	8	13	8	3	10	4	6
14時	9	15	15	5	19	4	2
15時	13	15	10	5	10	1	4
16時	3	11	11	8	7	4	4
17時	5	3	3	3	5	-	1
18時	1	4	3	2	3	-	1
19時	1	1	2	-	3	1	1
20時	3	-	2	1	3	-	-
21時	3	1	3	-	-	-	1
22時	6	-	1	-	2	1	-
23時	2	3	6	-	-	-	1
24~4時	6	7	9	3	8	2	1
計	125	156	145	51	137	33	45

7 業種別

前年同期に比べると、主に「沿岸」が大きく増加している。

業種	H30	R1	R2	1～3月	R3	1～3月	R4 1～3月
船内	46	66	55	21	52	16	12
沿岸	47	62	55	22	61	12	27
はしけ等	2	3	3	1	3	-	-
検数等	6	9	5	2	2	1	1
関連	17	11	16	4	13	1	4
その他	7	5	11	1	6	3	1
計	125	156	145	51	137	33	45

8 作業職種別

「作業員」が、全体の8割を超えている。

作業職種	H30	R1	R2	1～3月	R3	1～3月	R4 1～3月
船内荷役作業主任者	3	-	1	1	3	-	-
フォアマン	1	3	1	-	-	-	1
沿岸荷役主任者	-	-	-	-	1	-	-
運転者	7	14	9	2	17	3	3
合図者	8	7	6	2	7	1	1
玉掛け者	8	12	12	5	8	2	2
検数員等	6	8	3	-	1	1	1
ラッシャー	9	9	9	4	2	1	3
清掃	-	1	-	-	-	-	-
作業員	80	95	100	35	96	24	29
その他	3	7	4	2	2	1	5
計	125	156	145	51	137	33	45

9 事業場規模別

前年同期に比べると、主に「30～49人」、 「50～99人」及び「300人以上」が増加している。

規 模	H 3 0	R 1	R 2	R 3		R 4	
				1～3月	1～3月	1～3月	
1～49人	45	51	60	22	47	14	18
1～9人	(11)	(2)	(10)	(3)	(-)	(-)	(1)
10～29人	(18)	(23)	(26)	(9)	(21)	(8)	(7)
30～49人	(16)	(26)	(24)	(10)	(26)	(6)	(10)
50～99人	28	39	28	11	39	6	11
100～299人	43	56	49	15	46	13	12
300人以上	9	10	8	3	5	-	4
計	125	156	145	51	137	33	45

10 経験年数別

前年同期に比べると、主に「1年未満」、 「1～4年」及び「5～9年」が大きく増加している。

経験年数	H 3 0	R 1	R 2	R 3		R 4	
				1～3月	1～3月	1～3月	
0～9年	49	67	73	25	55	10	25
1年未満	(12)	(18)	(27)	(9)	(6)	(1)	(4)
1～4年	(22)	(26)	(27)	(8)	(32)	(5)	(10)
5～9年	(15)	(23)	(19)	(8)	(17)	(4)	(11)
10～19年	40	36	27	6	34	10	7
20～29年	22	36	29	13	34	9	8
30年以上	14	17	16	7	14	4	5
計	125	156	145	51	137	33	45

11 事故の型別

前年同期に比べると、主に「転倒」、 「崩壊、倒壊」及び「はさまれ、巻き込まれ」が増加している。

事故の型	H30	R1	R2	R3		R4
				1～3月	1～3月	1～3月
墜落, 転落	34	56	42	13	37	11
転倒	20	22	20	7	26	5
激突	5	5	3	1	6	2
飛来, 落下	10	6	12	3	8	1
崩壊, 倒壊	3	6	8	4	6	1
激突され	6	7	12	4	14	5
はさまれ, 巻き込まれ	35	36	29	9	27	6
切れ・こすれ	1	3	1	1	1	-
交通事故・ 火災等	-	3	-	-	-	-
動作の反動等	7	10	13	8	9	2
その他	4	2	5	1	3	-
計	125	156	145	51	137	33

12 起因物別

前年同期に比べると、主に「物揚げ装置等」、 「その他装置等」及び「荷」が大きく増加している。

起因物	H30	R1	R2	R3		R4
				1～3月	1～3月	1～3月
動力機械	2	6	2	1	3	1
物揚げ装置等	33	46	31	9	36	6
その他装置等	10	18	21	7	11	5
仮設物,建物等	32	26	31	10	34	7
物質, 材料	7	15	10	7	10	1
荷	24	24	35	8	36	10
環境等	5	4	3	-	5	3
その他	12	17	12	9	2	-
計	125	156	145	51	137	33

13 船型別

災害発生に船がかかわった 15 人を見ると、前年同期に比べ、増加している船型はない。

船	H30	R1	R2	1～3月	R3	1～3月	R4 1～3月
コンテナ船	29	29	35	12	33	10	8
RO/RO船	5	4	9	4	5	2	1
在来船	28	52	26	12	31	6	5
はしけ	1	6	3	1	4	1	1
その他	10	13	2	1	2	1	-
計	73	104	75	30	75	20	15

14 関連機械別（機種別）

災害発生に機械がかかわった 28 人を見ると、主に「フォークリフト」及び「トレーラー」が大きく増加している。

関連機械	H30	R1	R2	1～3月	R3	1～3月	R4 1～3月
揚貨装置	5	11	5	1	8	2	1
天井クレーン	1	3	3	3	-	-	1
ガントリー クレーン	9	11	13	5	12	2	4
トランスファー クレーン	1	-	-	-	1	-	-
移動式クレーン	9	24	12	4	9	2	3
フォークリフト	28	25	24	8	28	6	11
ストラドル キャリア	2	1	-	-	1	-	1
ショベルローダー	2	1	2	1	2	-	-
ブルドーザー	1	2	2	1	1	-	-
フォークローダー	-	-	-	-	-	-	-
トレーラー	6	6	4	1	6	-	5
上記以外の クレーン	-	-	-	-	-	-	-
その他	23	25	24	10	11	1	2
計	87	109	89	34	79	13	28

15 品名（貨種）別

災害発生に品名（貨種）がかかわった 31 人を見ると、前年同期に比べ、主に「その他」が大きく増加している。

品名（貨種）	H30	R1	R2	R3		R4	
				1～3月	1～3月	1～3月	
原木	2	1	-	-	1	1	-
製材	2	3	-	-	5	1	2
合板	-	3	-	-	1	-	-
車	6	4	6	3	5	1	3
鋼管・鋼材	19	18	18	7	10	2	5
バナナ	1	2	1	1	-	-	-
くず鉄	-	2	1	-	2	-	-
冷凍魚	1	-	1	-	-	-	-
鉱石	2	1	1	-	1	-	-
石炭	2	11	3	2	2	1	-
チップ	4	-	1	1	3	-	-
雑貨類	6	6	2	1	2	1	-
原糖	-	-	-	-	-	-	-
飼料	1	5	2	1	2	1	-
ロール紙	4	1	1	-	1	-	1
穀物	3	4	10	4	4	1	-
その他	47	59	48	18	43	9	20
計	100	120	95	38	82	17	31

16 荷姿別

災害発生に荷がかかわった 31 人を見ると、前年同期に比べ「袋物」及び「ばら物」を除き増加している。

荷姿	H30	R1	R2	R3		R4	
				1~3月	1~3月	1~3月	
素材「裸」	3	15	7	2	9	1	4
袋物	7	12	10	3	7	1	-
ボール	2	-	2	1	1	-	-
棒物	8	7	8	4	3	-	2
束物	8	8	5	2	8	3	4
ばら物	13	19	12	6	14	3	1
箱物	5	8	8	5	5	1	4
缶物	2	1	-	-	1	-	-
コンテナ	26	32	30	9	22	7	9
車	7	5	6	3	4	-	3
その他	19	18	19	6	8	1	4
計	100	125	107	41	82	17	31

港湾貨物運送事業における労働災害（休業4日以上）の推移

(単位：人)

年	労働災害 防止計画	厚生労働省調べ		協会調べ（会員事業場のみ）	
			死 亡		死 亡
昭和39年	第2次	13,347	133	不明	不明
49年	第4次	9,230	79	〃	〃
59年	第6次	2,387	33	2,015	29
63年	第7次	1,396	29	1,196	27
平成元年		1,275	26	1,131	21
2年		1,103	28	950	22
3年		1,034	29	855	27
4年		946	22	832	13
計		5,754	134	4,964	110
平成5年	第8次	826	16	691	14
6年		735	15	641	15
7年		672	20	578	19
8年		590	28	488	20
9年		589	17	464	14
計		3,412	96	2,862	82
平成10年	第9次	463	19	358	12
11年		411	10	330	7
12年		388	11	315	10
13年		406	18	331	12
14年		389	15	308	15
計		2,057	73	1,642	56
平成15年	第10次	348	12	254	9
16年		334	10	230	9
17年		323	11	231	8
18年		298	14	196	11
19年		307	9	198	8
計		1,610	56	1,109	45
平成20年	第11次	290	9	204	9
21年		228	10	147	7
22年		219	5	159	5
23年		245 363*	10	179	5
24年		344*	5	156	4
計		1,444*	39	845	30
平成25年	第12次	296	6	151	3
26年		349	5	158	2
27年		284	8	141	5
28年		286	10	117	7
29年		331	8	127	3
計		1,546	37	694	20
平成30年	第13次	330	4	125	3
令和元年		376	7	156	7
2年		330	4	145	4
3年		382	4	137	1
1～3月		65	0	33	0
4年1～3月		181	0	45	0

注) 1 厚生労働省の死傷数は労災保険給付データ及び労働者死傷病報告であったが、平成24年より労働者死傷病報告のみを用いている（*印/前年との比較のため、平成23年も同様である。）。

2 昭和39年の死傷者数は、休業8日以上のもの。

香港灣貨物運送事業勞働災害報告書

總支部別

(2022年1月~3月)

区分	延勞働時間数	災害発生件数(人)						勞働損失日数(日)						度数率		強度率	
		死亡	永久不能勞働	永久一部不能勞働	休業4日以上	休業1~3日	計 休業4日以上	死亡	永久不能勞働	永久一部不能勞働	休業4日以上	休業1~3日	計 休業4日以上	休業4日以上	休業1日以上	休業4日以上	休業1日以上
總支部																	
北海道	913,005	0	0	1	0	1	1	0	0	14	0	14	1.10	1.10	0.02	0.02	
東北	971,086	0	0	2	2	2	4	0	0	60	12	60	2.06	4.12	0.06	0.07	
日本海	989,192	0	0	2	3	2	5	0	0	39	6	39	2.02	5.05	0.04	0.05	
千葉	1,853,024	0	0	3	0	3	3	0	0	74	0	74	1.62	1.62	0.04	0.04	
東京	2,565,408	0	0	6	0	6	6	0	0	292	0	292	2.34	2.34	0.11	0.11	
神奈川	4,658,128	0	0	7	0	7	7	0	0	220	0	220	1.50	1.50	0.05	0.05	
東海	5,175,381	0	0	7	0	7	7	0	0	319	0	319	1.35	1.35	0.06	0.06	
大阪	2,415,660	0	0	4	0	4	4	0	0	153	0	153	1.66	1.66	0.06	0.06	
兵庫県	3,141,724	0	0	6	1	6	7	0	0	390	1	390	1.91	2.23	0.12	0.12	
中国	1,822,110	0	0	1	0	1	1	0	0	2	0	2	0.55	0.55	0.00	0.00	
四国	426,124	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	
九州	3,132,133	0	0	6	0	6	6	0	0	201	0	201	1.92	1.92	0.06	0.06	
沖縄	691,914	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	28,754,889	0	0	45	6	45	51	0	0	1,764	19	1,764	1.56	1.77	0.06	0.06	
対前年比	-225,142	0	-1	13	6	12	18	0	-7,500	159	19	-7,341	0.43	0.63	-0.25	-0.25	
前年(2021年)	28,980,031	0	1	32	0	33	33	0	7,500	1,605	0	9,105	1.14	1.14	0.31	0.31	
2020年	29,323,988	1	0	49	3	51	54	7,500	0	2,239	4	15,239	1.74	1.84	0.52	0.52	
2019年	29,479,281	4	0	49	0	53	53	30,000	0	1,992	0	31,992	1.80	1.80	1.09	1.09	